いもち病と穂枯れ、紋枯病

一成分でイッカツ一括防除

農林水産省登録
第２１１９５号

水稲本田用殺菌剤

クミアイ オリブライト® 250G


葉いもち


穂いもち


紋枯病


穂枯れ（ごま葉枯病菌）

豆まき感覚で、しっかり防除

やや深めの水深で散布


実物大写真（製剤）



10アール当たり250g

特長

1. 本剤は、粒径約3～8mmの豆つぶ製剤で、10a当りの使用量が250gと少量、省力型の水稲本田用殺菌剤です。
2. 豆つぶが水面に浮遊しながら速やかに崩壊、分散し、有効成分が広く均一に拡散するため安定した防除効果を発揮します。
3. 有効成分のメトミノストロビンは、いもち病、紋枯病、穂枯れに対し、高い予防効果を示します。
4. 速やかに根部から吸収され、長い残効性を有し、散布適期幅が広く、使いやすい薬剤です。
5. 手まき散布（ゴム手袋着用）や大型水田での動力散布機により、水田に入らず畦畔からの散布ができます。

自然に学び 自然を守る
クミカ

®は登録商標

豆まき感覚で、いもち病をしっかり防除

クミアイ オリブライト® 250G

殺菌剤分類 11

有効成分：メトミノストロビン……60%

毒　　性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

■適用病害の範囲および使用方法

＊本剤およびメトミノストロビンを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	総使用回数＊	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） 稲こうじ病 墨黒穂病 白葉枯病	250g/10a	出穂10日前まで ただし、 収穫45日前まで	1 回	散　布 無人航空機による散布

2023年9月現在の登録内容

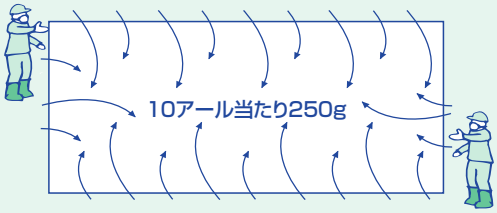
上手な使い方

本剤は水面浮遊型の自己拡散剤で、優れた水中拡散性を有します。従来の粒剤のような散布でなくとも優れた効果が発揮できます。大型水田では背負い式の動力散布機により、水田に入らず畦畔から散布ができます。



①使用方法

ゴム手袋をして、袋から薬剤を一握りすくい取り、10a（20m×50m等）の水田では約4m毎に1回、30a（30m×100m等）の水田では約3m毎に1回投げ入れてください。



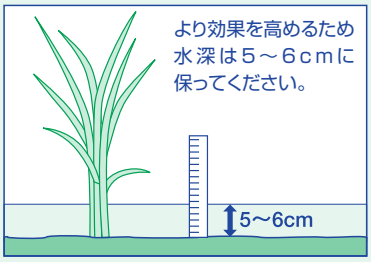
●投げ入れる間隔の目安（ひとつかみ10gのとき）

	圃場面積		処理辺	散布する距離	散布間隔
圃場A	20m×50m	10a	長辺2辺	100m	4m
圃場B	40m×50m	20a	長短4辺	180m	3.6m
圃場C	30m×100m	30a	長辺2辺	200m	2.7m

②水管理

散布時はやや深めの湛水状態（5～6cm）で止水にして処理し、4～5日は湛水状態を保ってください。

自然減水により田面が露出するようになったら、通常の水深になるまで水を入れて止水にしてください。



⚠使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

●本剤をいもち病に使用する場合、葉いもちの初発10日前～10日後の散布で、葉いもちに有効であり、また、穂いもちに対する効果も期待できますが、穂いもちの多発が予想される場合には、穂いもち対象剤を併用することが望ましいです。

●散布に当っては、湛水状態（水深3～5cm）で均一に散布し、特に、藻類、表層剥離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になる恐れがありますので、ていねいに散布して下さい。また、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、散布後7日間は落水およびかけ流しをしないで下さい。

●本剤の使用により、稲の葉に褐点を生ずる場合がありますので、所定の使用量を水田に均一に投げ入れるとともに、次の事項に十分注意して下さい。

○葉いもちの初発生の遅い地域または早生種に対しては、本剤の使用時期のなるべく早い時期（出穂30日前頃まで）に使用することが望ましいです。

○急激な温度上昇がおこる気象条件下では、葉に褐点を生じやすいので、フェーン現象などが予想される場合には使用しないで下さい。

●本剤を散布した水田の田面水を他作物の灌水に用いないで下さい。

●本剤を無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。

○散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。

○無人航空機用粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。

○事前にほ場規格に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度、インペラ回転数を調整して下さい。

○周辺部への飛散防止のため、航空機ほ場の端から6m以上離してほ場内に散布して下さい。

○散布薬剤の飛散によって他の動植物などへ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意して下さい。

○水源池、飲料水などに本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。

○機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄水は河川などに流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●散布に使用した器具、容器の洗浄水および空袋などは河川などに流さず、容器、空袋は環境に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠安全使用上の注意事項

●誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。

●本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。

●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。

●水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないで下さい。無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池などに飛散しないよう特に注意して下さい。

●保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。吸湿性があるので開封後は早めに使用してください。使い残りは、開封口を密封して、湿気が入らないように保管してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。 250G

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

2608（26-7）

JAグループ 農協 全農 経済連
全農 は登録商標 第4702318号

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス https://www.kumiai-chem.co.jp